

一般選抜前期（1日目）

数 学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）

【出題方針】

本学薬学部一般選抜前期（1日目）の数学では、高等学校数学の基礎的内容が確実に理解できているかを確認します。さらに、基本事項を適切に組み合わせ、与えられた条件を整理して正確に処理する力、論理的に考察して結論を導く力を総合的に評価します。標準的な問題を中心に出题し、複数の知識や手法を用いて解決する姿勢を評価します。解答では途中式を含む過程の妥当性と計算の正確さを重視し、本学薬学部での学修に必要な数学的基礎力・論理的思考力・問題解決能力を判定します。

【高校の学習で大切にしたいこと】

- 教科書を何度も繰り返して読んで定義と基本的な考え方を理解し、定理を証明したり教科書の問題を確実に解いたりできるようにすることが大切です。グラフや図などを描きながら学ぶことを勧めます。計算力を高め、教科書に書いてある各項目の相互の関連を考えながら応用問題に取り組むことが望ましいです。
- 基礎的な問題は、教科書の例題や章末問題を丁寧に取り組むことで十分解答できます。教科書の例題や応用問題（章末問題）を丁寧に解くことが重要です。
- 長文問題は題意を正確に把握し、解答数の多さに惑わされず、順序立てて解答して下さい。多くの場合、基礎的な問いから始まっていることから、途中であきらめしないで解答しましょう。教科書の応用問題（章末問題）や問題集の中難度の問題に取り組むことによって十分解答できるようになります。

【2026年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間】

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
1 確率、数と式	記述式	100 点	70 分
2 微分法と積分法（2次関数）			
3 平面ベクトル			

【出題の意図】

- 1 (1)(a) 独立・反復試行の確率に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
(1)(b) 独立・反復試行の確率に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。(a)よりも多くの場合分けが必要になっています。
- (2)(a) 整式の除法に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

(2)(b) 整式の除法に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。(a)よりも複雑な条件が付いています。

2(1) 2次関数の接線に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 放物線と直線で囲まれた図形の面積に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(3) 相加・相乗平均に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

3(1) 平面ベクトルと図形に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 平面ベクトルの内積に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(3) 平面ベクトルの内積に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。(2)の結果を適切に用いることで計算が容易になります。

一般選抜前期（2日目）

数 学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）

【出題方針】

本学薬学部一般選抜前期（2日目）の数学では、高等学校数学の基礎的内容が確実に理解できているかを確認します。さらに、基本事項を適切に組み合わせ、与えられた条件を整理して正確に処理する力、論理的に考察して結論を導く力を総合的に評価します。標準的な問題を中心に出题し、複数の知識や手法を用いて解決する姿勢を評価します。解答では途中式を含む過程の妥当性と計算の正確さを重視し、本学薬学部での学修に必要な数学的基礎力・論理的思考力・問題解決能力を判定します。

【高校の学習で大切にしたいこと】

- 教科書を何度も繰り返して読んで定義と基本的な考え方を理解し、定理を証明したり教科書の問題を確実に解いたりできるようにすることが大切です。グラフや図などを描きながら学ぶことを勧めます。計算力を高め、教科書に書いてある各項目の相互の関連を考えながら応用問題に取り組むことが望ましいです。
- 基礎的な問題は、教科書の例題や章末問題を丁寧に取り組むことで十分解答できます。教科書の例題や応用問題（章末問題）を丁寧に解くことが重要です。
- 長文問題は題意を正確に把握し、解答数の多さに惑わされず、順序立てて解答して下さい。多くの場合、基礎的な問いから始まっていることから、途中であきらめないで解答しましょう。教科書の応用問題（章末問題）や問題集の中難度の問題に取り組むことによって十分解答できるようになります。

【2026年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間】

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
1 場合の数、指数関数	記述式	100 点	70 分
2 微分法と積分法（3次関数）			
3 数列、対数関数			

【出題の意図】

- 1 (1)(a) 重複のある場合の数に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (1)(b) 文字を辞書式に並べる場合の数に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (2)(a) 指数関数を用いた変数の置き換えに関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認して

います。

(2)(b) 2次関数に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

2(1) 積分方程式を満たす2次関数の決定に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 微分法と積分法(3次関数)に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。与えられた条件と(1)の結果から解答を得ます。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(3) 3次関数の最大値および最小値に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

3(1) 数列の和に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 数列の漸化式に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(3) 対数関数に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。